

◎経営革新企業紹介

株式会社 肉の横沢 横沢 盛悦 社長に聞く

社会的使命としての 「介護事業」で グループ全社員に誇りと 一体感を



▲横沢盛悦社長。「事業の原点は、自分の欲するものをつくること」



▲温泉も、施設の自慢の一つ。ほかに檜の足湯も設置されている

ちをつくろうと計画し、さまざまな準備を進めているなか、たまたま八幡平ハイツが特殊法人等整理合理化計画によって売却されることを知り、入札に参加したわけです。

新しく施設をつくるよりも、八幡平ハイツをそのまま活用したほうが良いとお考えになったわけですね。

そうです。八幡平ハイツはバリアフリーの施設で良質の温泉もあります。しかも広大な敷地を持ち、豊かで美しい自然に囲まれています。この介護事業を始めるにあたっては、アメリカやカナダを含め海外にも行って視察をしたのですが、アメリカでは、おじいちゃんがおばあさんを車椅子に乗せて明るく広々とした芝生の庭や池のまわりを散歩していたり、おばあちゃんたちが赤いショートパンツをはいて、ニコニコ楽しそうに笑いながらバトンの練習をしていた。あるいは4、5人で談笑しながらパッチワークをしている。カナダでは、五大湖のそばのレストランにお年寄りたちが集まって楽しそうに食事をしていました。みなさん薄化粧をしたり、おしゃれをして集まっている。そんな姿を見て、私は日本とはずいぶん違うんだなと思ったわけです。八幡平ハイツの環境なら、アメリカやカナダで見たようなサービスをお年寄りたちに提供できると考えたのです。

二つのきっかけの、もう一つは。

私の父が、ある介護施設のサービスを利用した時に「情けない」と言って涙を流したことがありました。私はその涙に込められた意味を、「こういうところにいる自分が情けない」、そして「一生懸命に働いて育て、おまえを大学までやったのに、

東北有数の食肉卸業として知られる御社は平成17年6月、八幡平ハイツの中にホテル機能を活用したデイサービス「ほかほかクラブ」を開所し、新事業として介護事業に進出しました。その経緯は。

今回の新事業にあたっては、二つのきっかけがありました。その一つは、今から10年ぐらい前ですが、旧西根町時代に考えた「シルバー・シティー構想」です。西根町を高齢者の暮らしやすいまちにして、高齢者の方々を集めて人口を増やしていこうという構想です。当時、町の将来を考えたとき、企業誘致にも期待できず、高齢化が進むなかで、町の人口が増えていく要素はなかった。そこで、逆転の発想をして、高齢者が集まってくるまちをつくろうと考えたのです。これは社会的にも意義のある事業と考え、西根インターチェンジのすぐそばに、ショッピングセンターも併設した県北最大のま



▲レクリエーションや入浴をして過ごす、午前中。明るい部屋に楽しい笑い声が響く



▲ホテル利用客と同じレストランでサービスを受けながらいただく、おいしい食事

おまえはオレをこういうところに置くのか」と受け取りました。その施設では、ずらりと並んだ車椅子に座ったご老人の方々が、うつろな目でぼんやりと天井を見つめていた。つまり、こういう施設には入りたくないということなのですね。その日、私は施設の廊下を歩きながら、その介護士さんに聞いたんです。「あなた方は、年をとったらここに入りたいですか?」と。そしたら「入りたくない」と言うんですね。ですから私は、もっと人間が人間らしくいられる施設、人間としての尊厳が守られる施設、もっと言えば、自分が入りたいと思う介護施設をつくりたいと思ったのです。

利益追求より社会的使命を優先して介護事業に進出したのが分かりました。しかし、まったくの異業種。不安はありませんでしたか。

正直言って無かったですね。というのは、私が肉の仕事をする時も、八幡平ハイツを買い取ってホテル事業に取り組むときも、その業界については全くの素人で何も知らなかったのです。私はこれまで、消費者の視点で考えたらどうだろう、利用するお客様の視点で考えたらどうだろうということで、すべての事業に取り組んできました。幸いホテル事業も初年度から黒字になり、肉の事業もここまで大きくなった。つまり、経営者の視点ではなく、お客様の視点で考えていけば大きくはブレないというのが私の考え方です。

介護事業に進出したことで、グループ全体にとってどのような影響がありましたか。

当社のグループには現在、肉の卸売業のほかにホテル、介護施設、ハム製造、不動産関係、飲食業など12の業種があります。新事業に取り組むことで、社員一人ひとりのなかに、うちの会社は社会に貢献するためにいろんなことをやっているんだという、一種の誇りが生まれました。グループ内での異動がありますので、最も適した分野の仕事につくこともできます。

企業紹介 DATA

株式会社 肉の横沢

所在地 八幡平市大更 21-52-1

電話 0195-76-3026 (代)
http : //www.2911.jp

代表者 横沢 盛悦

事業内容 精肉、一般食品総合卸売販売、ホテル旅館経営、介護事業

グループ 肉の横沢（盛岡・水沢・八戸）、八幡平味の工房、八幡平ハイツ、やすらぎ荘、ココハウス、ウエスト・サン

沿革

昭和 21 年 11 月 設立

昭和 61 年 盛岡事業所開設

昭和 62 年 水沢事業所開設

平成 元年 八幡平味の工房を設立

平成 6 年 八戸事業所開設

平成 12 年 新盛岡事業所開設（滝沢村）

平成 15 年 雇用・能力開発機構から八幡平ハイツを取得

平成 16 年 滝沢村から「やすらぎ荘」を取得

平成 17 年 八幡平ハイツにデイサービス

「ほかほかクラブ」を開所

平成 19 年 盛岡事業所内に新工場完成

今後の目標と展開は。

セカンドハイツの「やすらぎ荘」をスポーツ合宿や研修施設として充実させます。全室バス・トイレ付で温泉浴場があり、洗濯機もたくさんあります。1泊3食付で5,000円台のサービスを提供していきたい。おいしい肉をたくさん食べさせてあげたい。本業の肉の卸業では、新工場が今年2月中に完成する予定です。大学と提携して研究室を併設し、安全でおいしい最高の品質のお肉を提供していきます。